

食品安全の未来をひらきます

日本発・国際標準に整合した
食品安全マネジメント認証

JFS-C / GFSI 承認



一般財団法人食品安全マネジメント協会
Japan Food Safety Management Association : JFSM

みんなで取り組む食品安全

JFS 規格 / 認証プログラムが求められる背景と理由

すべての消費者が安心して食卓を囲めるよう、安全な食品を継続して提供することは、食品事業者の使命です。

食のグローバル化が進む中、日本の食を世界市場に普及していくことは、食品産業の重要な成長戦略といえます。また、国内市場においても、増加する海外からのお客様への対応や食材調達において、国際的なルールや基準への整合が求められています。

日本の消費者にとどまらず、世界の消費者からの信頼を得るため、食品事業者が活用しやすく、HACCP を含む国際標準に整合した食品安全マネジメント規格のプラットフォームを共有していくことが必要です。

一般財団法人食品安全マネジメント協会（JFSM）は、プログラムオーナー（CPO）として、GFSI の承認を得た日本発の食品安全マネジメント規格とその認証のしくみである JFS を構築・運営し、これらの課題に対応すると共に、日本の高度な食品安全管理手法を生かし、食品安全マネジメントの実施水準を高めることにより、世界の食品安全に貢献します。食品安全の確保は、個々の食品事業者が単独で取り組むだけでなく、フードチェーンの各段階のすべての事業者が取り組むことによって、その有効性が高まります。

JFSM は、JFS の普及とそれを支える人材の育成、情報の発信、国際標準のルール作りへの参画を通じて、食品産業の更なる安全管理レベルの向上と管理コストの最適化、消費者の信頼向上に寄与したいと考えています。

JFSM の担う役割

日本発・国際標準の食品安全マネジメント規格と その認証プログラムを広めます



HACCP への対応を支え、
輸出拡大にも寄与します



食品安全管理の
コストの最適化に貢献します



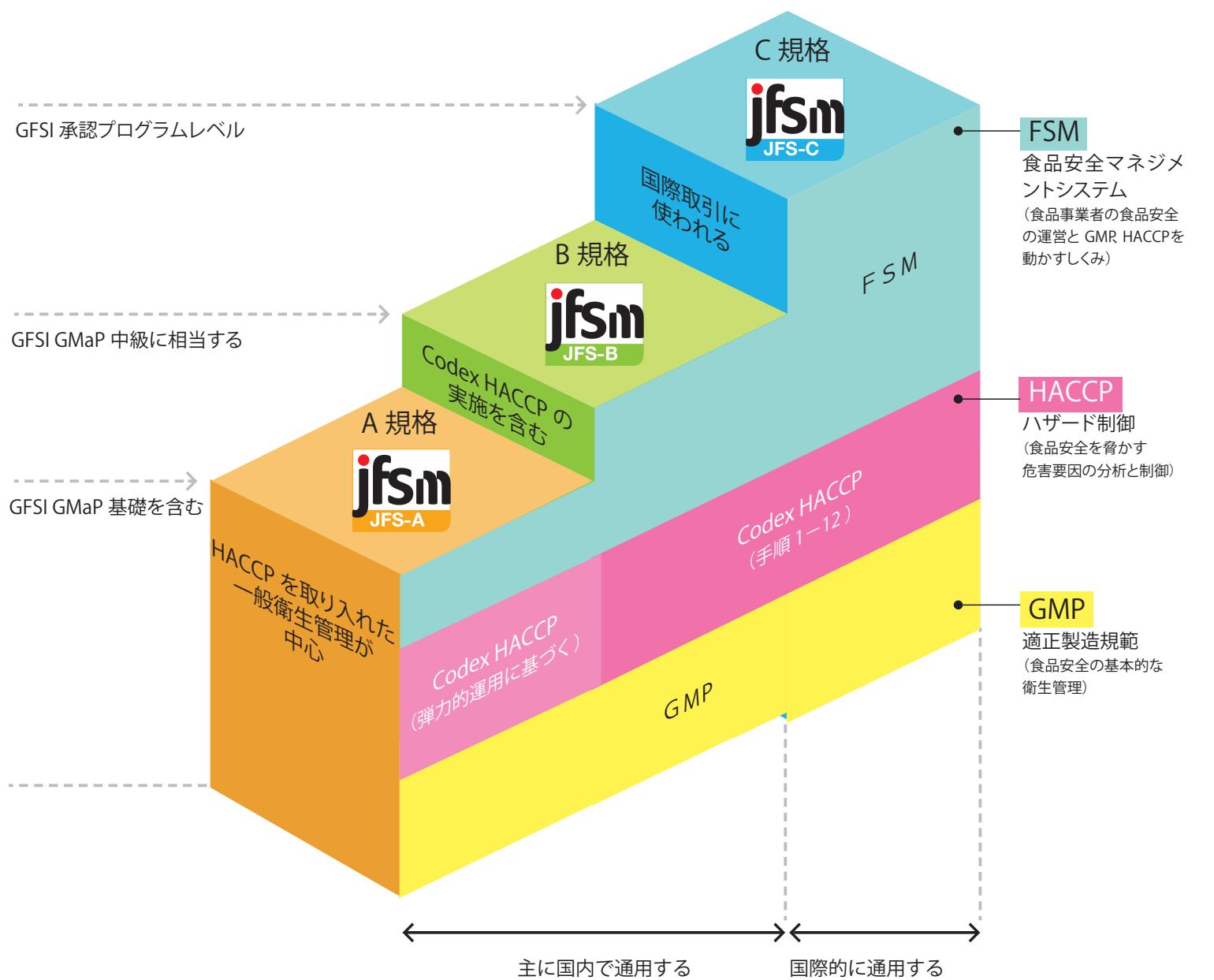
国際的な標準化活動と、情報
発信のできる人材を育成します

すべての食品事業者にとって取り組みやすい 3 段階のしくみ



<認証／適合証明を受けることによるメリット>

- ①国際標準の GFSI 承認食品安全マネジメント規格に適応
- ②販売地域を拡大しグローバルサプライチェーンにも参入
- ③HACCP の制度化に対応
- ④二者監査のコスト最適化



GFSI (グローバルフードセーフティイニシアチブ)
世界最大の消費財企業の業界団体である「コンシューマーグッズフォーラム(CGF)」の“食品安全”をテーマにした分科会組織

GMaP (グローバルマーケットプログラム)
中小規模の会社が、GFSI 承認認証を取得するための、ステップバイステップのプログラム

<JFSM 基準文書の全体像>

スキーム・プログラム文書だけでなく、各規格個別のガイドラインも公表しています

規格	スキーム・プログラム文書	ガイドライン
組織への要求事項	規格・認証運営のしくみ	組織が具体的に何を実施すべきかの考え方と具体的な事例
JFS-C 規格 jfsm JFS-C	JFS-C 認証スキーム文書	JFS-C 規格ガイドライン
JFS-B 規格 jfsm JFS-B		JFS-B 規格ガイドライン
JFS-A 規格 jfsm JFS-A	JFS-A/B 規格監査及び適合証明プログラム文書	JFS-A 規格ガイドライン

<認証／適合証明取得までの STEP >

STEP 1

キックオフ

JFSM ウェブサイトにアクセスし、JFS-A/B/C 各規格の詳しい内容を確認の上、取得方針を決定します。

STEP 2

マネジメントシステム構築

ガイドライン、チェックリストを参考に自組織をチェックし、すべての要求項目に対応する食品安全マネジメントシステムを構築します。

STEP 3

審査／監査、登録

- JFSM に登録・公表された認証機関／監査会社を選定・契約し、審査／監査を受けます。
- 認証／適合証明が得られると JFSM のウェブサイトにて認証／適合証明を受けた組織名・サイト名が公表されます。

フードチェーンを支える産官学の連携により、日本発の食品安全マネジメント規格の運営主体として、JFSMは生まれました

JFSMは、食品関係企業、農林水産省および大学の研究者の連携により検討が開始され、約2年の準備期間を経て、国内の食品関係事業者と有識者によって2016年1月に設立されました。

法人概要

名 称 一般財団法人食品安全マネジメント協会
設立年月日 2016年1月8日

評議員

池戸 重信 (一般社団法人日本農林規格協会)
片岡 茂博 (キッコーマン株式会社)
三毛 明人 (株式会社ヤクルト本社)

理事長

西谷 徳治 (弁護士)

理 事

青山 誠一 (株式会社セブン-イレブン・ジャパン)
岩間 清 (日本ハム株式会社)
内田 昌則 (キユーピー株式会社)
梅津 克彦 (ヤマトホールディングス株式会社)
川崎 順司 (株式会社ニチレイ)
河村 肇 (株式会社ローソン)
児玉 智郎 (株式会社明治)
小山 郁 (日本マクドナルド株式会社)
中嶋 一彦 (サントリーMONOZUKURIエキスパート株式会社)
西中 直子 (アサヒグループホールディングス株式会社)
野崎 和美 (全国農業協同組合連合会)
平山 ひかる (株式会社吉野家ホールディングス)
前鶴 俊哉 (日本製粉株式会社)
山越 昭弘 (日本生活協同組合連合会)

監 事

広田 鉄磨 (関西大学)

設立者一覧

《法人》
アサヒグループホールディングス株式会社
味の素株式会社
イオン株式会社
キッコーマン株式会社
キユーピー株式会社
サントリービジネスエキスパート株式会社
株式会社セブン&アイ・ホールディングス
株式会社ニチレイ
株式会社日清製粉グループ本社
日本生活協同組合連合会
日本製粉株式会社
日本ハム株式会社
株式会社明治
株式会社ヤクルト本社
山崎製パン株式会社
雪印メグミルク株式会社
株式会社吉野家ホールディングス
株式会社ローソン
《有識者》
関西大学化学生命工学部
広田 鉄磨
東京海洋大学先端科学技術研究センター
湯川 剛一郎

(設立時の法人名・大学名 / 五十音順)

(氏名五十音順／2019年10月現在)



JFSM の活動にご賛同くださる皆さまのご入会をお待ちしています



入会のメリット

- 食品安全マネジメント規格／運営・食品安全行政に関する国内外の最新情報が得られます
会員専用ウェブサイトやメールマガジン等を通じて最新情報を提供しています。
- 研修・セミナーへの優先申込・割引参加ができます
JFS規格関連セミナー、食品安全担当者研修、審査員／監査員養成研修、国際人材養成講座等の幅広い研修を実施しています。
- 規格・ガイドラインづくりに参画できます
新たな規格やガイドラインづくりに、作業部会や検討会等で直接ご意見を述べていただく機会もございます。
- 会員間での情報交換の場を設けます
- 会員が主催するセミナー等に講師を派遣いたします

会員構成

業界各社、認証機関、監査会社、金融機関、業界団体、個人会員等、幅広い会員の皆様によって JFSM の運営は支えられています。

入会申込

- 会員区分、企業規模により、入会金、年会費が設定されています。
- 各会員の定義及び入会方法につきましては、当協会ウェブサイトより「会員規程」をご確認ください。



<https://www.jfsm.or.jp>



一般財団法人食品安全マネジメント協会
Japan Food Safety Management Association:JFSM

〒104-0042 東京都中央区入船三丁目10番9号
新富町ビル8階

・地下鉄有楽町線「新富町駅」7番出口から徒歩2分
・地下鉄有楽町線「新富町駅」5番出口から徒歩3分
・地下鉄日比谷線「築地駅」3番出口から徒歩5分

電話 : 03-6268-9691
FAX : 03-6268-9697
E-mail: office@jfsm.or.jp

